

第 38 回日本看護科学学会学術集会「若手ネットワークサロン」のご報告

若手ネットワークサロン「看護の未来を一緒に創造しよう！～ワークライフバランスの視点から多様な生き方・働き方を考える～」を開催しました。

本年度は、昨年度設置した3本の若手の樹のなかで、特に関心の高かった「ワークライフバランス」をテーマと致しました。新たな試みとして、事前に若手の会メンバーリストの皆さまにアンケートを実施し、学会サロン会場で結果を掲示するとともにご意見を募集しました。事前アンケートには109名、サロン会場では88名の合計197名の方から回答を頂きました。多種多様なご意見からは、若手研究者が、教育・臨床・研究といったワークと家庭や趣味といったプライベートのバランスに試行錯誤しながら、一人の研究者として自立し、前に進もうとしている姿が浮かび上がってきました。さらに、今後の希望や提案を咲かせる若手の樹には、「看護だけの世界にとらわれず、多様な領域の方たちとの協働」が掲げられていました。ぜひ報告をご覧になり、皆さまの今後の生き方・働き方のヒントにして頂ければと思います。

またサロンでは、「若手の会」の活動を牽引するエリア・コーディネーター25名の紹介文を掲示致しました。各エリア・コーディネーターの個性溢れるお写真や、意外な得意分野の紹介、前向きで力強いメッセージによって、各地域のエリア・コーディネーターに興味を持って頂けたのではないのでしょうか。このサロンでの交流をきっかけに、若手の輪が広がることを期待しております。

